

診察前検査結果報告所要時間

2022 年度 臨床検査部 診察前検査結果報告時間

	血球数算定	プロトニン時間	D-ダイマー	生化学検査	尿スクリーニング	尿沈査
目標報告時間	30分以内報告率	45分以内報告率	45分以内報告率	45分以内報告率	20分以内報告率	45分以内報告率
達成目標	95%	90%	90%	80%	80%	85%
4月	97.5%	92.7%	93.9%	79.7%	70.8%	78.0%
5月	96.9%	89.9%	90.3%	81.3%	70.6%	75.5%
6月	97.2%	91.2%	91.1%	82.7%	65.6%	79.3%
7月	94.5%	91.1%	91.9%	79.2%	63.2%	72.5%
8月	96.1%	92.4%	93.6%	80.3%	63.1%	71.8%
9月	95.3%	91.3%	91.4%	78.6%	60.8%	68.4%
10月	97.0%	92.8%	93.7%	76.5%	63.0%	75.4%
11月	96.0%	92.0%	92.2%	77.6%	64.0%	81.8%
12月	95.8%	89.1%	88.6%	75.1%	60.9%	79.2%
1月	96.5%	91.1%	91.8%	74.5%	64.4%	86.7%
2月	97.7%	91.3%	91.8%	76.5%	67.1%	88.7%
3月	96.8%	90.2%	90.9%	78.3%	66.4%	87.9%
年間平均	96.4%	91.3%	91.8%	78.4%	65.0%	78.8%

外来診察前検査結果待ち時間は、常に短縮できるよう意識すべき評価対象であり、臨床検査部では 2017 年から毎月の集計結果を現場にフィードバックし改善活動を継続している。

2020 年度 5 月に検査棟 1 階(採血・尿検査)の大幅な改革による新たな運用から 3 年経ち、2022 年度の検査結果報告所要時間は運用が定着した結果として評価できると考える。生化学検査では目標の 80%を超える月も 2 か月あり、達成まであと少しのところまで改善してきた。尿スクリーニング検査は目標報告時間 20 分という数値の見直しが必要と考える。尿沈査は 45 分以内報告を 85%達成するためには、運用の見直しが必要と思われるため、現場と連携して目標達成に近づく運用改善を行う。「検査に要した時間の推移」では検査所要時間平均で評価しており、平均化されたデータでは見落としてしまう個別の結果報告時間について、「診察前検査結果報告所要時間」で評価を行い、更なる患者サービスの充実を目指す。

データ提供 臨床検査部